

環境保全(産業廃棄物削減)

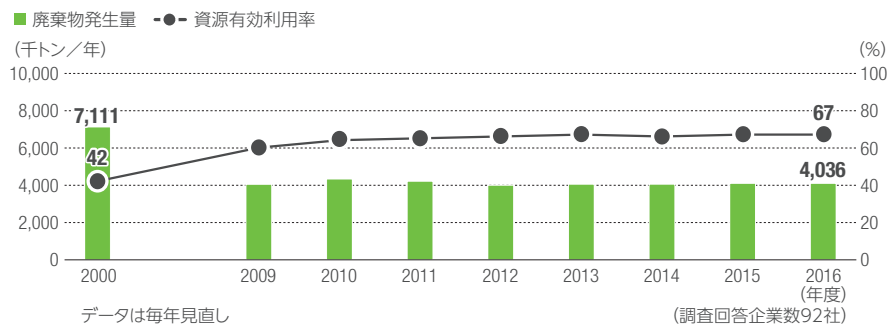
最終処分量の2016年度目標達成状況



最終処分量の2016年度目標達成状況

2011年度より日本経団連環境自主行動計画に従った目標(2015年度の最終処分量を2000年度比65%程度削減)を掲げ、取り組みを進めてきました。

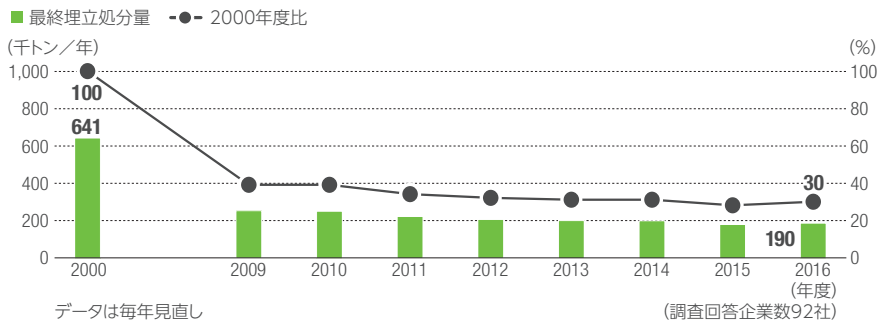
発生量・有効利用率推移



発生量・有効利用率推移

2016年度の産業廃棄物発生量は4,036千トンで、基準となる2000年度比43%削減となりました。また分別の徹底や再資源化の取り組みを積極的に行い、資源有効利用率(資源有効利用量の廃棄物発生量に対する割合)は2000年度で42%でしたが2016年度には67%まで向上しました。

最終処分量推移



最終処分量推移

2016年度最終処分量は190千トンで、2000年度比70%削減となりました。また最終処分量の削減とともに、産業廃棄物管理票(マニフェスト)の交付回収確認や最終処分地の現地視察など、廃棄物の適正処理確認も法改正に従い年々強化してきています。

	2016年度実績	
	2000年度比	前年度比
産業廃棄物発生量	43%削減	横這い
資源有効利用率	25ポイント向上	横這い
最終処分量	70%削減	7%増加